

平成 31 年度授業改善プラン 美術科

大田区立大森第四中学校

平成 30 年度授業改善プランの検証

取組における成果と課題

- ・どの学年も、落ち着いて授業に参加することができた。
- ・最終的な作品提出の際に出さない生徒がいないように指導してきたが、清陵祭では全校生徒 1 つ以上の作品を展示することができた。
- ・個別指導を心掛けているが、制作時間が長いものは進度の差が出てしまうので、授業時間内に作品が完成できるように声掛けをしていく。

美術の授業改善策

<美術への関心・意欲・態度>

どの学年も落ち着いて授業に参加できているので、この楽しみながら作品制作に取り組める雰囲気を保ちながら、より一層分かりやすい授業を目指す。

<発想・構想の能力>

デザインスケッチ（発想）を苦手とする生徒に、進度の遅れが発生することが多いため、個別指導で様々なアドバイスをする。また、タブレットを使い、イメージにあった資料を探しやすくする。

<創造的な技能>

制作に入ると意欲的に取り組める生徒が多い。分かりやすい説明を心掛け、完成度の高い作品作りを目指す。また、作品意図を明確にし、創造的に制作を進められるように取り組ませる。

<鑑賞の能力>

美術館見学レポートや鑑賞授業などから、美術作品の良さや美しさなどを感じ取らせる。また、文化を理解し、卒業後も美術を愛好する力を身に付けるような授業を、各学年とも年間を通して取り入れていく。